

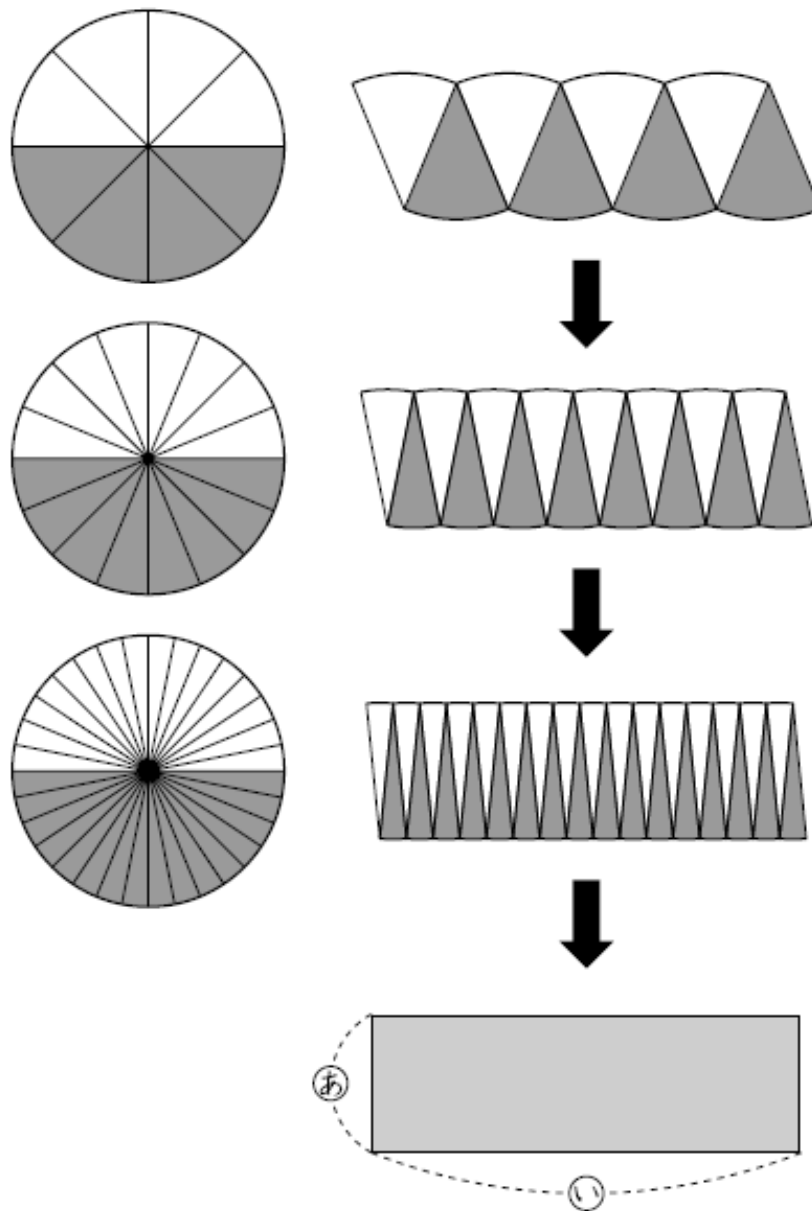
# 7 円の面積

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

※H22全国学力調査問題 (1) 国 80.1%, 県 77.0% (2) 国 55.3%, 県 51.8%

1 下の図のように、円をどんどん細かく分けてならべかえると、長方形になると考えられます。

したがって、円の面積はⒶとⒷの積で求めることができます。



(1) ㉞は円のどの部分にあたりますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 半径                  ② 直径                  ③ 円周                  ④ 円周の半分

①
---

(2) ㉟は円のどの部分にあたりますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 半径                  ② 直径                  ③ 円周                  ④ 円周の半分

※ 円周の半分の長さが、ちょうど長方形の横の長さになっています。

④
---

2 次の①～⑥にあてはまることばや数を、下の解答らんに入力してください。

円の面積は、次の公式で求められます。

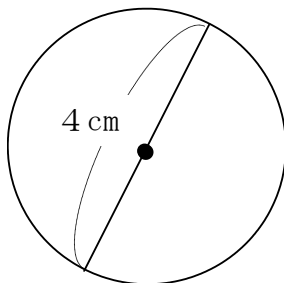
$$(\quad \text{①} \quad) \times (\quad \text{②} \quad) \times (\quad \text{③} \quad)$$

③は、( ④ )が、( ⑤ )の何倍になっているかを表す数で、約( ⑥ )です。

①	半径	②	半径	③	円周率
④	円周の長さ	⑤	直径の長さ	⑥	3. 1 4

3 次の円の面積を求めましょう。

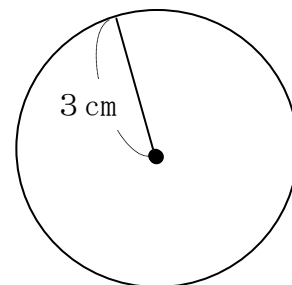
(1)



$$2 \times 2 \times 3. 1 4 = 1 2. 5 6$$

1 2. 5 6      cm <sup>2</sup>
-------------------------------

(2)



$$3 \times 3 \times 3. 1 4 = 2 8. 2 6$$

2 8. 2 6      cm <sup>2</sup>
-------------------------------